

令和6年度第3回沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会会議録

1 期日

令和6年7月30日（火）

2 場所

テラス沼田 第2委員会室

3 出席者等

委員13名（2名欠席）、事務局5名

4 開会（午後1時00分）

委員15名の半数以上の出席により、審議会が成立することを確認

5 議事

（1）第2回会議録及び今までの振り返りについて

（2）答申書の作成について

（3）その他

会長	これまで、沼田市の今後の教育の在り方、学校の施設整備をどうしていくべきか議論いただきました。本日は、答申書についてです。それでは、議事に入ります。事務局より説明をお願いいたします。
事務局	資料2ページから5ページは、前回から振り返りです。審議会でもいただいたご意見は、全て重要なものと認識しておりますが、読み上げるための部分を赤字にさせていただいております。記載のとおり様々ご意見をいただきましたのでご確認いただければと思います。
会長	ありがとうございました。 それでは、引き続き、事務局説明をお願いします。
事務局	今回から答申書の作成に入りますが、資料1の「沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会答申書（案）」をご覧ください。 あくまでたたき台であり、このとおりに作成いただきたいということではありません。本日のご意見を踏まえ、次回、違ったものをご提案させていただくこともあると思いますので、よろしくをお願いします。 答申書「1はじめに」についてのご説明となります。 まず、再編を進めるに当たっての姿勢や考え方の部分をまとめていきたいと思っております。小学校と中学校を分けてご意見をいただくことがあり

	<p>ましたので、小学校と中学校それぞれの欄を設けております。</p> <p>資料9ページでは、この「1はじめに」に当たる「学校再編における基本的な考え方」から見ていきたいと思ひます。</p> <p>まず、再編の必要性についてですが、審議会でのご意見は、資料3ページの記載のとおりです。概ね皆様から「再編は必要ない」といったご意見はないということで、再編は検討した方がよいということによろしいでしょうか。まず、一度確認をさせていただければと思ひます。</p>
会長	委員の方々いかがですか。
委員	私は、進めてほしいです。5～10年先の数は、ほぼ見えているので、まずは、統廃合をして、それによって問題があったら順次解決していくという方向に進めた方がよろしいかなと思ひます。
会長	ありがとうございました。次の方、いかがですか。
委員	やはり切実な問題だと思ひますので、すぐ統廃合するかどうかは、別としても、長期的、計画的にする必要があると思ひます。
会長	ありがとうございました。皆様、学校再編を進める方向で、よろしいでしょうか。
	(了承)
事務局	<p>では、続けて説明させていただきます</p> <p>学校再編をどのような方法で進めるかであります。今までのご意見は、資料4ページのとおりです。この意見から、表現を簡潔にしたものを吹き出し部分にまとめました。こちらを答申案「1はじめに」の部分に記入したいと考えております。その他として、ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>次に、小学校と中学校の違いなどに関するご意見として、答申書の「1はじめに」の下枠に入る部分についてです。こちらも同じ流れとなります。</p> <p>今まで審議会でのご意見は、5ページに記載のとおりです。いただいたご意見の一部ですが、簡潔にまとめたものが吹き出し部分です。</p>
会長	まず、「1はじめに」については、このような形でまとめることによろしいでしょうか。
	(了承)

<p>会長</p>	<p>異論がなければこの案でよろしいかとは思いますが、この中で特に小・中学校を区別しているのですが、このとおりでよろしいでしょうか。皆さんからの意見も小・中学校を一律に考えない方がいいという意見がありましたし、区分けをすることでよろしいですか。何かこのことについてご意見がございますか。</p> <p>では、4ページの(4)新たな時代の学校教育という部分ですが、前回の最後でもコンセプトという言葉がいくつか出てきましたけれど特色や意図を持たせた方法ですね。</p> <p>ただ単に再編しているということだけでなく、趣旨をしっかりと踏まえつつ、再編していった方がいいのではと思いました。そのような意図を汲んでいただいております。</p> <p>それから、小・中学校の違いという中で、地域の方の小学校に対する見方、中学校に対する見方も当然違いますし、どちらかという、中学校に多様性を求められるという部分もあると思います。ということで、こういった形で書かれていると思います。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>4ページに「長期的な計画」とあります。長期的とは何年なのかわかりませんが、多那中学校からすると、そこまでは待てない現状です。</p> <p>例えば10年間だと全然待てない状態ですし、入学児童がゼロということも見えてくるので、早いペースで進めるという方法がありがたいという感じです。</p>
<p>委員</p>	<p>小学校は残す、中学校は高校に繋げて統廃合するのではと読み取れました。</p> <p>すごく小さな規模の小学校の場合、地域との関係や環境を重視して残すのか、それとも規定の学級数でなければ再編を進めるのか、どうなるのかなと思います。</p> <p>個人的な意見では、やはり小学校は、地元の方と一緒に学んでいく機会が大変多いので、残ってほしいという願いがあります。学校統廃合は、地域にとって、非常に寂しくなるので、できることであれば、小学校は残ってほしいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。他に意見がある方はいますか。</p>
<p>委員</p>	<p>今、地域と学校の関わりですけれどもPTAというもの、そのもの自体がもう既になくなっている。そういう中で、子供が、その地域にいるわけですから関わりは、いくらでも持てるので、逆に、小学生のうちから、ある程度的人数で、人と人との触れ合いの中でもまれていかないと5人、10人の学校から、いきなり中学を統合して、300人、400</p>

	<p>人のところに入った場合に、子供の成長の中で、保育園、幼稚園に入っただけの2歳から4歳、5歳くらいまでの教育が一番大切だと、人間の成長の中で大事な時期だと言われておりますので、逆に言えば、その時点からある程度大人数の中で、教育機会を与えていく必要があるのではないかと。</p> <p>地域の関わりという捉え方を、もう少し違った視点で見るとは思いません。子供をどうするか、小学校6年間のどういう課程で育てていくのかと言いますのは、高校、大学、社会に出るはずですが、やはり、多くの人との触れ合いを作る小学生の機会を持たせて地域という捉え方をもっと大きく広げた形でいったらどうかというふうに思います。小学校が、こういう理由で統廃合をしませんよとはちょっと考えられないので、やはり、小学校、中学校との関係と適正な、児童生徒のもとで、学力だけではなくて、社会性を成長できるようになっていくべきではないかなと思っております。</p> <p>前日も、子供達を集めて研修会、高校生との触れ合いの中でやりましたが、小さい学校から来たから、やっぱり、中学生や高校生と接する中で勉強になったというような話もあり、大人数で集まるのはいいですねというような意見があります。</p>
会長	<p>中学校については、各委員の方々、同じ意見だと思います。再編を積極的に進めた方がいいという。</p> <p>今、小学校も中学校も同様に再編をとったような、いろんなご意見が出たと思うのですが、小学校に関していかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は利根町ですが、長男が利根中学校で、次男と三男が利根小学校にいるんですけども、現実問題として、多那と一緒に、利根地区、どんどんどんどん、子供というよりも、全体の人口が減っていて、一昔前はいろいろ団体もあって、お年寄りとの交流とか、そういったものもできていましたが、今は老人クラブ自体もなくなり、地域との交流といっても、お年寄り自体が少なくなってきており、現実には、空き家が増えている状態です。地域と何かをやっていくというのは、これからもっと難しくなるのかなと思います。</p>
会長	<p>小学校の再編については、いかがですかね。積極的にとか。</p>
委員	<p>私としては、トンネルも開きましたし、利根から沼田に通っても30分以内に来るので、スクールバスを使ったとしても、10分、15分で白沢小学校まで行きます。</p> <p>できれば、前の利根村、白沢村とか関係なく、再編していただけるとありがたいなと思います。</p>

会長	はい。ありがとうございました。
委員	<p>それが地域の捉え方ということなのですね。</p> <p>例えば、利南東小学校ですとか上久屋、久屋原その辺りから、通学するわけです。小学1年生の足で山、坂を越えて通ってくる、これで事故がないのが本当に幸いだというふうに捉えているんですよ。</p> <p>やっぱり、学区というものを見直して、まず、安心・安全というものを考えて、学区の再編というものを考えるべきだなというふうに思っております。</p> <p>そうしないと、万が一にも想像ができない、想定外のことが起きているときですから、たとえ一人でもそういうような事故にあってしまっは大変です。やはり、小学校区を根本的に見直すという、要は道路事情も30年前、40年前とも大幅に変わっているわけですし、スクールバスもあるので、小学校は、逆に言えば中学校より小学校を根本的に見直すくらいのことで考えたい。</p> <p>今の、子供たちが大人になった時に、良かった、一人前になった、社会で、通用するようなそういう教育機関が必要かと思えます。どういったことか具体的には言えませんが、そんな形で考えて、地域を広くということにもなります。</p>
委員	<p>私の知り合いのお子さんも30歳くらいになるが、小学校出たときに、高橋場町の一番先だったんです。だけど、学区が北小ですから、やはり40分以上かけて通っていました。沼小に行くには、5分、10分かかかるくらいの距離だったのに、私は、学区が決まっていたものですから40分かけて、小学校1年のときから、かばんを背負って通っていた。</p> <p>そんな話を聞いたときに、学区がなくなれば本当に沼小から半径この位というので、沼小に行きましようとかというのがあれば、わざわざ40分かけて歩かなくても良かったのかなんて考えていました。</p> <p>材木町も東小に40分かかり、沼小の方が近いのかなと思うと、先ほどのお話を考え直してもらおうといいかなと思いました。</p>
委員	<p>薄根地区でも実態として、子供が少なくなって、集団の登下校をしていないこともあり、近くまで親御さんが送って来たり、迎えに来たりしている様子があります。今後は、地区からスクールバスをというお願いが出てくると思います。それは、今、お話があったように、防犯上やクマが出たりすると、親御さんたちが、近くまで自分の車で送り迎えしたり、学校とそんなに距離がなくても、雪が降ったときや雨が降ったときも車で迎えに行く、それが現実です。適正な規模とか別として、それが統廃合の一つの大きな要素だと思っています。安全・安心という話の中</p>

	で、そういう話を、出させてもらいました。
委員	皆さんの意見を聞いていたら、やはりこちらの考えが古いのだなと思いました。安心・安全とか、空き家が多いとか、そういう現状を考えると、もう仕方がない状況なのだなと小学校を含めて思いました。
委員	<p>中学校では、学習とか、集団で社会性を保つことが望ましいとあるが、それは小学校も同じだと思います。</p> <p>あと、例えば、多那とか、沼小は一律には言えないところがあると思いますが、ただ学校をある程度見直しすることは必要だと思います。</p> <p>例えば、多那だったら、利根町に行くなど、行政区にとらわれすぎると動きが取れなくなってしまう。なぜ、利根小に多那が入らなかったのか経緯もあるのかと思うので、そこらへんも考えると、行政区と学区といろいろな区別、区割があるので、広くより子供たちが行きやすいということなどが一番大事だと思います。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。それ以外、いかがですか。</p> <p>そうすると、例えば、この答申書の案の様式で、小学校については、中学校については、ということで書かれる必要はないですか。</p> <p>全体的な意見とすれば、小中を一緒に、早めに再編をというふうな流れのようですので、この様式についても考えてもらいたいと思います。</p> <p>内容についてはよろしいですか。続きまして、2番の目標、施策について、説明をいただけますか。</p>
事務局	<p>次に、重点目標と具体的な施策になります。</p> <p>6ページをご覧ください。前回の審議会で「コンセプトをしっかり持つことが重要だ」とのご意見を多くいただきましたので、こちらの項目を加えました。</p> <p>「沼田市らしい学校の形は何か」、「そのために具体的に何をすればいいか」という形で記載をしたいと考えておりますが、皆様からご意見を頂戴できればと思います。</p> <p>7ページでは、参考にこれまでの意見から出たキーワードをお示ししています。</p> <p>一つ目のキーワードは、“地域”になります。「地域との繋がりが大切」、「地域への郷土愛を考えていく必要がある」等のご意見でございました。</p> <p>二つ目のキーワードは、“子供”です。</p> <p>三つ目のキーワードは、“安心・安全”です。施設というより、通学に関してのご意見が多かったかと思えます。統合はスクールバスの検討も併せて行う必要があるといったご意見もございました</p> <p>そして、最後のキーワードは、“交流・多様性など”とさせていただきます。</p>

	<p>きました。学校間の交流、異学年との交流、地域との交流、また、「多様性の時代に対応するため、いろいろな考え方に触れる機会が必要」といった意見等をいただいたところでございます。</p> <p>8ページは、先ほどのキーワードを参考にイメージとして作らせていただいております。子供の未来を中心に、地域、安全、交流を挙げ、具体的な施策を載せるものとなっております。</p> <p>ここで、お時間をいただきまして、お配りした用紙に皆様のご意見を記載いただければと思います。</p>
	(委員記載)
会長	何人かの方にお話を伺いたい。
委員	キーワードで「交流・多様性」がキーワードになっているが、「交流・多様性」というのは子供が少ないと図れないとは一概に言えないと思います。工夫によって掘げられると思うので、統合としてのキーワードとしては違うのではないかと。
事務局	例えば、異学年の交流の際、義務教育学校の話が出てきたり、学校外での色々な工夫も含め、様々な意見をいただいたのでキーワードとしました。ご意見をいただいた後に含めるか、除くのか検討いたします。
委員	規模にとらわれずに、地域に生きる人づくりを中心にしたことが沼田市らしいと思う。地域に愛着を持って生まれ育った土地に誇りを持てる体験学習を教育課程の柱にする。交流を広げる工夫をしていき、学校の課題解決に繋がればと考えている。
委員	一人一人の児童生徒の生活と活動学習を中心に子供たちが集団で学び成長する環境のある学校、沼田市らしいは飛んじゃうが、具体的には学校施設からの距離とか通学の安全を優先した通学校の選択を可能とする、そのための通学手段の構築と書いた。
委員	沼田市らしいというのがうまく表現できないが、子供たちの笑顔を守ることが第一優先である。子供たちの笑顔実現に向けて、不安がなくのびのびと学校教育を受けられる環境づくりがいいのか、具体的に出ないが、子供達の笑顔を守るためにどうしたらいいのかが大事なのではと考えた。
会長	ほか、なければ後日、事務局で記入いただいたご意見をまとめていただきます。

事務局	<p>続きまして、資料9ページになります。</p> <p>答申書案「3 適正規模と適正配置の基本的な考え方」についてです。今回の審議会は、教育委員会から「沼田市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方」について諮問をさせていただいております。</p> <p>そのため、適正規模や適正配置について、答申書の中で3（1）から（4）のそれぞれご意見をいただくのはいかがかというご提案です。</p> <p>一点目は小学校・中学校の再編を進める上での基本的な考え方です。これは、数字だけでない部分もあると思いますので、文章で記載できるようにしております。</p> <p>二点目は、適正規模について、ここでは望ましい学級数をあげました。三点目は、適正配置について通学時間をあげました。</p> <p>四点目は、そのほか望ましい視点については、義務教育学校や小中一貫校などの新しいかたちについて検討してはどうかといったご意見も頂戴していることから、記載したものであります。</p> <p>一点目は、「1 はじめに」で記載しました「小学校については」、「中学校については」から、更に適正規模や配置に関する具体的事項を記載することになります。</p> <p>小学校は特に地域との関係も深く、「きめこまやかな学習体制を生かし小規模でも地域とともにある学校が大切」というような学校の規模に関するご意見、「中学校では、高校進学、部活動」などの視点から一定規模の集団の中で社会性を育むことが必要といったご意見があるかと思いますが、この点についてお伺いいたします。</p>
会長	<p>これは、冒頭の部分でもご意見をいただきまして、小中学校に分けて考える必要があるのかどうかということですが、このまま一緒によろしいですか。小学校も中学校もいずれにせよ、次に再編を進めていく必要があるのかどうかということですね</p> <p>この基本的な考え方については、「1 はじめに」の部分で課題が出たので、その辺でまとめていくことでよろしいですか。</p>
	(了承)
事務局	<p>次に、2 適正規模：望ましい学級数の部分です。</p> <p>資料10ページをご覧ください。今までのご意見を伺った中で、学級数のみを記載してありましたが、この点についてご意見をいただければと思います。</p>
会長	<p>多くの方ができればクラス替えが可能となるように、複数の学級が望</p>

	ましいというご意見だったらというふうに考えております。
委員	<p>適正規模ですが、本来の規模というと、国なんか県で示していただきたい1クラス30人前後ですか、30人規模でクラス替えをしたいとなると学年2クラス、ただし沼田市の場合は、ここ数年出生数200人前後ですので、学年7クラスしか全体で設置できないということになり、学校数としては、3校ないし4校でということになります。</p> <p>小学校ですと、地域で、例えば、町だとか旧白沢、旧利根、そういう分け方ではなくて、例えば小学校の半径何キロというぐらいの形でやって、スクールバスなど、何かの方法を考えるとかといった対応するしかない。</p> <p>中学校ですと、部活の問題。今、沼田は非常に部活が厳しいと言われております。大会になると、野球でも、例えば1チームするには最低でも15人からの生徒が必要になるし、サッカーですと20人以上の生徒が必要となります。そういう生徒の部活に対する、運動部だとか、何かの要望に対して対応するのは、やはり学年120人規模、小学校2つ合わせた方というような規模の学校でないと、ある程度の部活だとか、委員会に対応できないかと思えます。</p> <p>そのようなことを教育委員会において、考えてもらいたいと思えますけれども、学校では解決できない問題がありますので、例えば小中一貫校だとか、義務教育学校だとかというものも、これから考えていく必要があるかなと思えます。</p> <p>例えば、どこかの地域に、小中一貫校、義務教育学校を、試験的・試行的にと言っては申し訳ないですが対応して、子供の数が少ないけれども例えば、小学生一クラス、中学生も学年一クラスぐらいの、小中一貫校になっても、そういうようなものが、教育委員会として、考える必要があると思えます。</p> <p>将来、人口が増える予想はどこにもありませんので。減るばかりですから、減った場合に、学区の見直しというのは、30年後ぐらいになるかもしれないので、それを含め小中一貫校を作っている他市の状況もあり、そのような対応が教育委員会として考えて、沼田市らしい小中学校といえると思えます。</p> <p>例えば、小学校、中学校に対しては、ある程度、選択制で志望校が決まる形などの方法を取って、強い部活ができるなどもあるかと思えますので、そのように幅広い形で検討してもらうのはいかがかと思えます。</p> <p>子供たちが将来、沼田に定着してもらいたいような形を作っていかなければならない。本当に小学生、中学生、高校生が沼田を好きになってもらいたい。それを今、重点的にやっていて、市のぬまた未来創造学も始まっておりますが、教育委員会でもそんな形の学校教育をお願いしたいと思っております。</p>

<p>会長</p>	<p>前回、事務局の方から、小中一貫校、義務教育学校について細かく説明して頂きました。</p> <p>この2つ目の、望ましい学級数についてご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>そこに例えばということを書いてありますけれども、複数学級が望ましい、望ましいということですから、こうしなさいということではありません。書き方としてはこういう書き方がいいと。クラス替えが可能ということもありますけれどもいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>想像以上に減少が進んでおり200人を切っていると聞いたときは本当にびっくりしました。本当に自分が知っている数十年前の学校も、一学年で200人もいたのに、これからは私たちの想定以上で減少しており、長い時間がたつと、またそこが変わってきて、どこまでそういうふうにできるかなというのがあります。少ない人数の良さもあると思うのでクラス替えができるにいいに越したことはないと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>答申案として、望ましい在り方を出さないといけない。それを基に教育委員会で話してもらって具体的な施策にすることになるので、審議会でも、ある程度具体的に示していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>どんどん子供たちが減っていくと、複数の学級を維持するということをや、また統合しても、またそこで維持するというのが難しい状況というのは、出てくるわけですね。</p> <p>複数いなくても、学校として成り立つような、ちょっと具体的に思いつかないのですが、例えば、ICTを使って授業を一緒にやるとか何か意見の交換とか、色々な先生の授業とかICTを使って一緒に授業をするようなことが可能なら、例えば、他校と一緒に授業をするようなことができるならば、ある程度の可能性があるのかなとは思いますが。</p> <p>急に人を集めて2クラスにしましょうと行って、学校を作っても、どんどん子供が減っていけば、それすらも、危なくなってくるわけですね。学校を統合して、友達が増えて、友達が集まるといいことになるのですが、それすらも維持できない、消滅してしまうということを見ると、どんな可能性があるのか、他に何か違う方向があるのか、見つけておかないといけないのかなという気持ちになりました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、大変貴重な意見ですね。</p> <p>例えば、この資料で言うと、(4)に入れるべきものですね。</p> <p>ただ、もう全体的な考えとしては、再編しましょうとなっております、その中でどういう数字を具体的に示すのかという話です。</p>

委員	<p>そうなるとやっぱり2クラス以上ですよ。</p> <p>クラス替えができた方がいいかなということは思いますので、3クラスは無理だとしても、2クラス以上の学級編成というのは、望ましいかなと思います。</p>
会長	<p>複数の学級以上が望ましいはよいかとして、クラス替えが可能という部分は考えていただくと言うことでよろしいでしょうか。</p>
	(了承)
事務局	<p>資料11ページをご覧ください。</p> <p>通学時間についてです。図のとおり、A校とB校が統合となり、A校の校舎を使う際に、B校の生徒がスクールバスを使用することが考えられます。その際の通学時間を具体的に考える目安になります。</p> <p>12ページは、小学校の通学エリアとなっております。</p> <p>13ページは、現在の川田小学校の例となり、通学時間等は、記載のとおりです。</p> <p>14ページは、中学校の通学エリアとなっております。</p> <p>15ページは、池田小中学校の例となり、通学時間等は、記載のとおりです。</p> <p>16ページは、以前お示したアンケートの結果です。通学時間に関して、小学生では、徒歩30分未満が8割、その他の通学方法を含めてほぼ全員が60分未満でした。中学生は、徒歩30分未満が9割、その他通学方法を含めほぼ全員が45分未満という結果でした。</p> <p>統合前の状況ですので、統合する場合の目安としてはこれより少ない通学時間とすることは難しい状況ではないかと考えております。このため、小学校、中学校ともに60分以内が通学時間の望ましい範囲と考えておりますが、通学時間につきまして委員の皆様からご意見を頂戴できればと思います。</p>
委員	<p>池田では、現在玉原から通う生徒が遠いということになる。</p>
委員	<p>60分であれば全てカバーできるが大変か。</p> <p>これから再編がなされることから、目安で60分はどうか言うことだが。</p>
委員	<p>今を超えない程度が良いのではないか。例えば43分を目安にしたらどうか。スクールバスで60分となると相当遠い。藤原からみなかみ中まで1時間かからないと言われていることを考えると、今の通学時間よ</p>

	りも多くなるのは答申としてはどうか、今の43分から45分としたらどうか。
会長	P T Aの方は。
委員	45分くらいが妥当だと思います。
会長	45分くらいでよろしいですか。ありがとうございます。
事務局	では、最後の項目となります。そのほか望ましい視点ということで、I C T、義務教育学校、小中一貫校等の話がありましたが、忌憚のないご意見を伺えればと思います。
会長	小中一貫校、義務教育学校以外で何か必要なことはありますでしょうか。
	(特になし)
会長	はい。 そうしましたら、貴重なご意見、また熱心なご議論、大変ありがとうございました。 以上で、第3回の審議会を終了といたします。